

株式会社ハイレックスコーポレーション

**2026年10月期
第3四半期決算のご説明
(IR資料)**

2026年9月4日

【業績・財務ハイライト】

- 2026年10月期第3四半期決算概要（連結）
- 関税及び中東情勢における影響

【政策保有株式売却・株主還元方針】

【業績・財務ハイライト】

2026年10月期第3四半期決算概要（連結）

決算サマリー（連結対前年比）

*売上高は、ハイレックスアクト新規連結（以下アクト）影響による784億円の増加に加え、

統合前事業(新規連結子会社を除く事業)では円安による邦貨換算額増加114億円等により増収

* 営業利益は、アクト新規連結による増益6億円の他、統合前事業において、中国における

販売不振、韓国での失注影響、メキシコにおける労務費率上昇等による減益を、米国、欧州

および日本での収益改善で補い1億円の増益

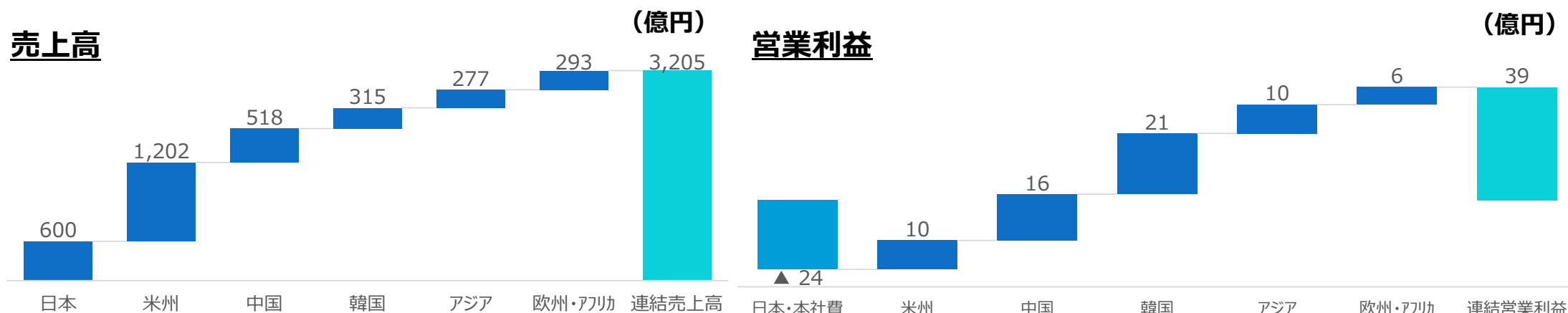
(百万円)

	2026年10月期 第3四半期累計実績	2025年10月期 第3四半期累計実績	増減額	増減率
売上高	320,556	227,679	+92,876	+40.8%
営業利益	3,882	3,152	+729	+23.1%
経常利益	8,032	5,866	+2,166	+36.9%
四半期純利益	40,842	3,401	+37,440	+1,100.6%

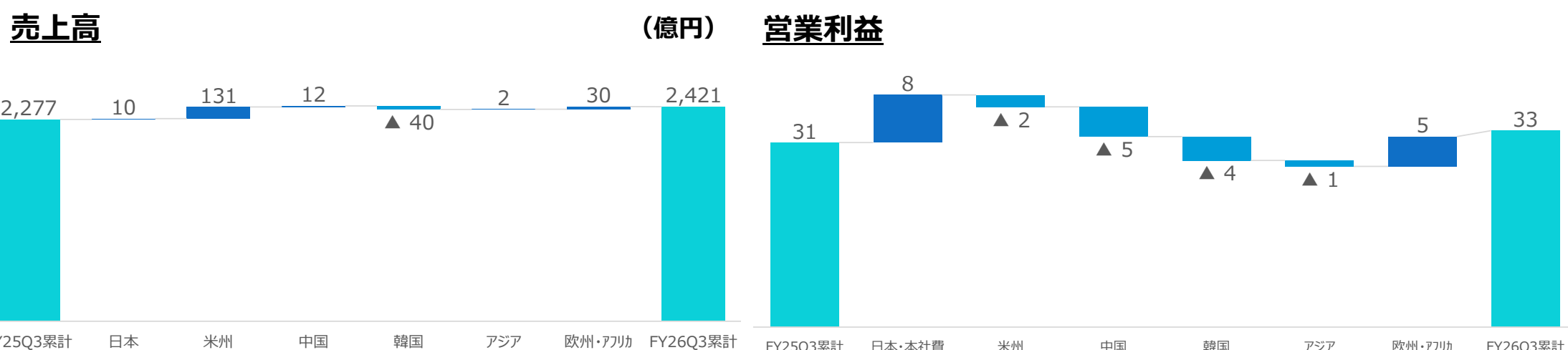
投資有価証券売却益13,931百万円(税引後9,662百万円)、負ののれん発生益28,308百万円の影響

地域セグメント別 連結売上、営業利益構成

*セグメント別の第3四半期累計売上高、営業利益



*統合前事業の売上高、営業利益増減

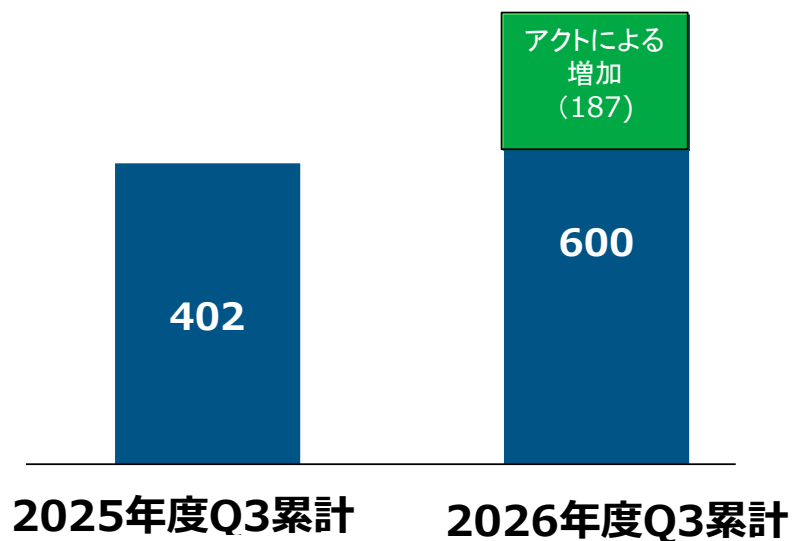


地域セグメント 日本

*売上高はアクト連結による増加に加え、統合前事業でも+2.7%となり、+49.3%の増収

*営業損益は、アクト連結の影響（▲24億円）で赤字が増加するも、統合前事業は不採算品への収支改善活動の効果が現れて前年比+8億円の損益改善

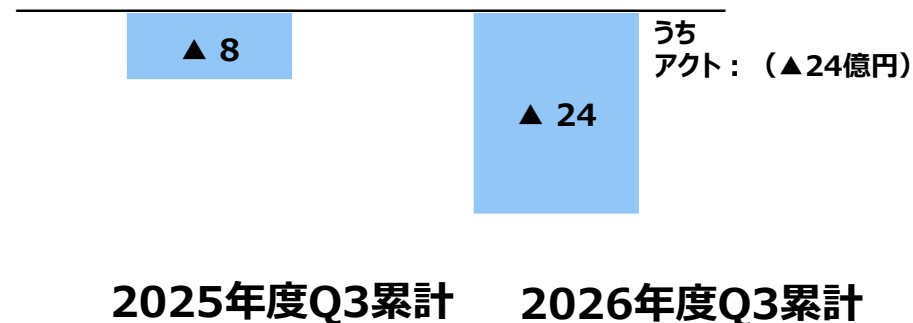
■売上高（外部顧客）（億円）



■2025年度比 増減額・増減率

売上高	+198億円 (+49.3%)
営業利益	▲16億円 (赤字増加)

■営業利益（全社費用含む）（億円）



地域セグメント 米州 (米国/メキシコ/ブラジル)

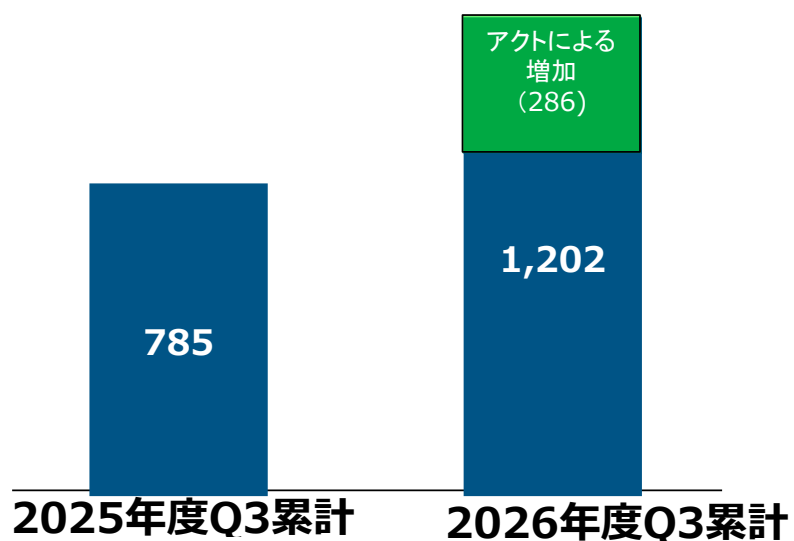
*売上高は、アクト連結による増加に加え、円安影響（+47億円）、統合前事業の

主要顧客向け売上の伸長で+17.0%となり、全体として+53.1%の増収

*営業利益は、アクト連結の影響（+6億円）で+4億円(86.9%)の増益

*統合前事業では、好調な販売に支えられて米国拠点+6億円の収支改善するも、
メキシコ拠点で一時的な減産とペソ高の影響による労務費率の上昇で▲8億円の減益

■売上高（外部顧客） （億円）

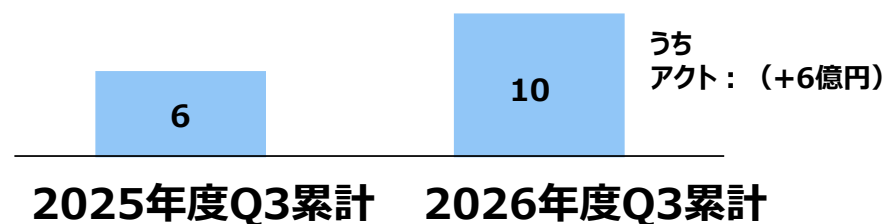


■ 2025年度比 増減額・増減率

売上高	+417億円 (+53.1%)
営業利益	+4億円 (+86.9%)

■ 営業利益

（億円）

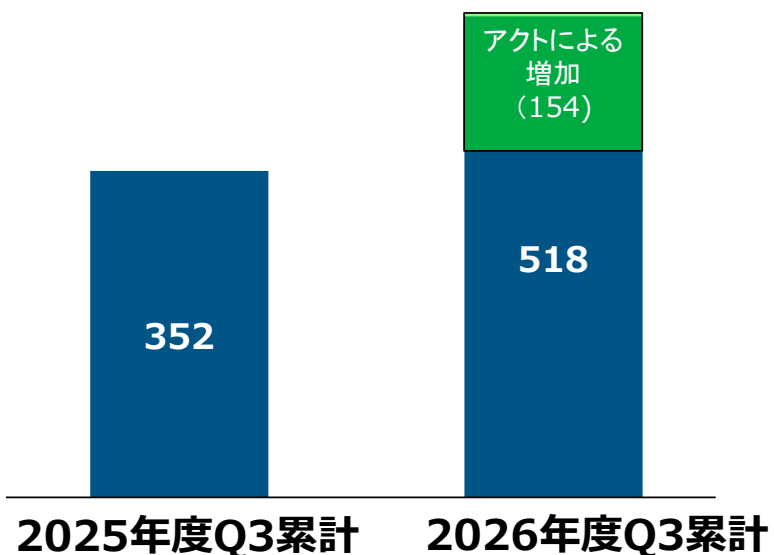


地域セグメント 中国

*売上高は、アクトによる増加が大きく寄与して+47.1%の増収も、統合前事業では中国顧客の不振により為替影響（+31億円）を除くと▲19億円（▲5.4%）の減収

*営業利益は、アクト連結の影響（+15億円）で+169.9%の増益も、統合前事業は主要顧客向けの販売数量減少により前年比約▲5億円の減益

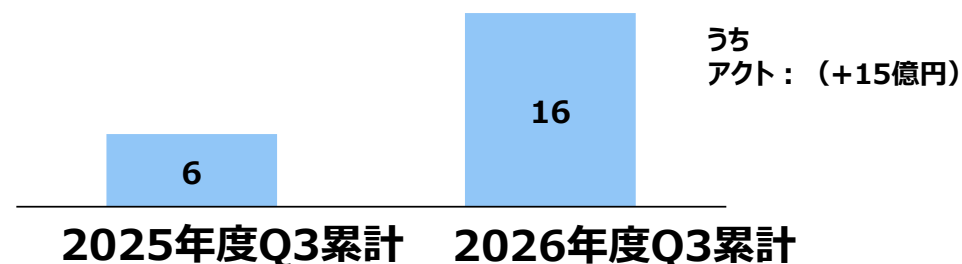
■売上高（外部顧客）（億円）



■2025年度比 増減額・増減率

売上高	+166億円（+47.1%）
営業利益	+10億円（+169.9%）

■営業利益（億円）

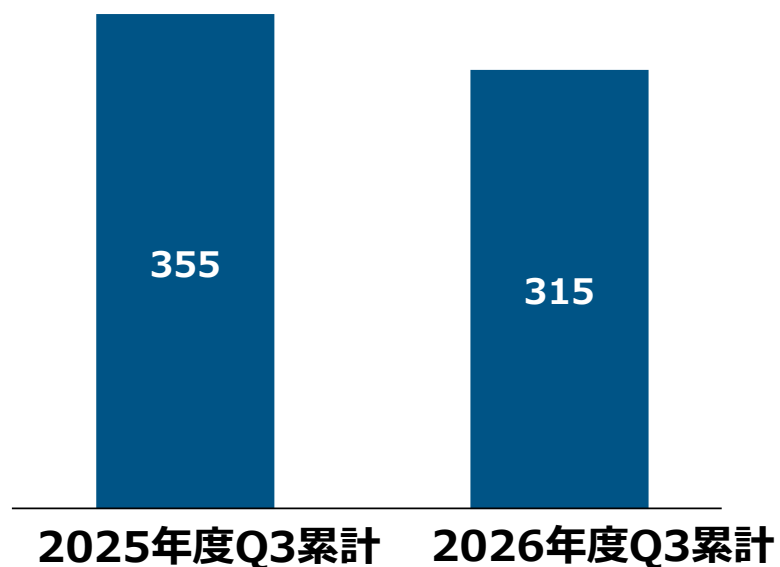


地域セグメント 韓国

* 売上高は、顧客の商流変更に伴うシステム製品（パワーリフトゲート）失注等により、
前年比▲40億円（▲11.3%）の減収

* 営業利益は、失注にともなう粗利益減少等により▲4億円（▲16.6%）の減益

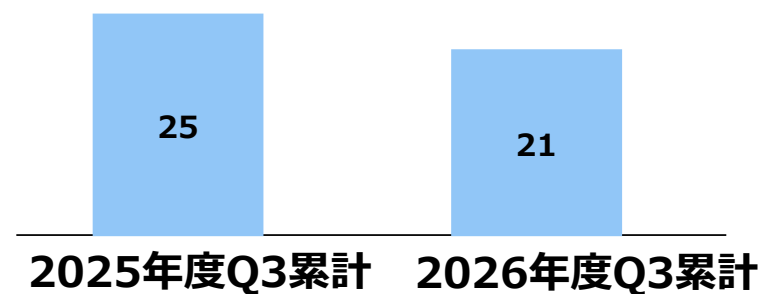
■ 売上高（外部顧客） （億円）



■ 2025年度比 増減額・増減率

売上高	▲40億円（▲11.3%）
営業利益	▲4億円（▲16.6%）

■ 営業利益 （億円）

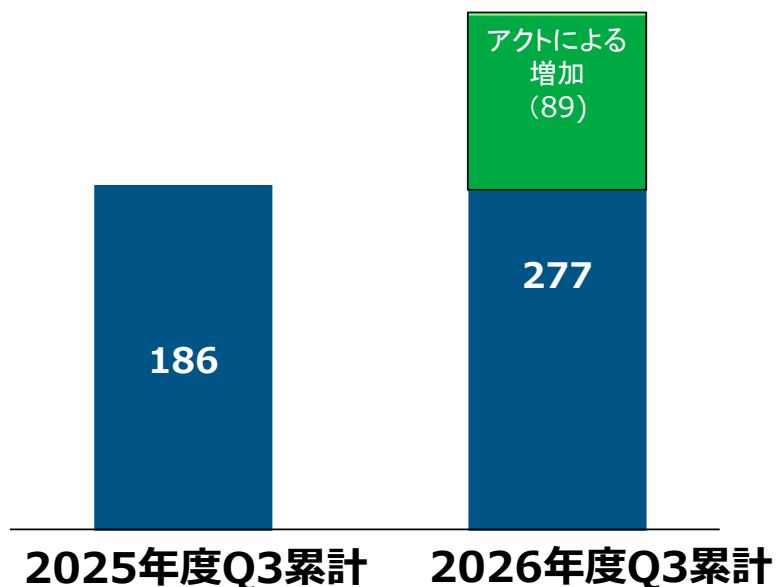


地域セグメント 他アジア (インド/インドネシア/ベトナム/タイ)

*売上高は、統合前事業は前年並みで推移となるも、アクトによる増加が寄与し
+48.6%の増収

*営業利益はアクト連結の影響（+10億円）で増益となるも、統合前事業は
インド事業の収益低下により前年比▲1億円の減益

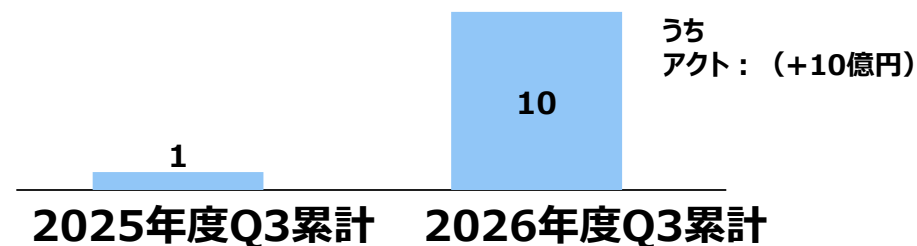
■売上高（外部顧客） (億円)



■2025年度比 増減額・増減率

売上高	+91億円 (+48.6%)
営業利益	+9億円 (+1,108.2%)

■営業利益 (億円)



地域セグメント 欧州・アフリカ

(ハンガリー/イタリア/スペイン/チェコ/セルビア/モロッコ/英国)

*売上高は、アクトによる増加に加え、為替影響（+25億円）、統合前事業のチェコおよび

ハンガリー拠点での販売増加等により+50.2%の増収

* 営業利益は、統合前事業のチェコおよびハンガリー拠点の増益により、+5億円の増益。

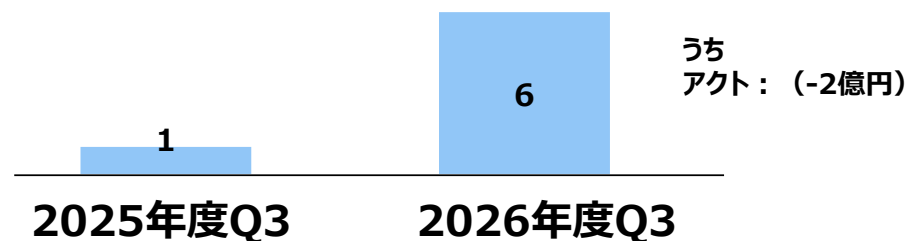
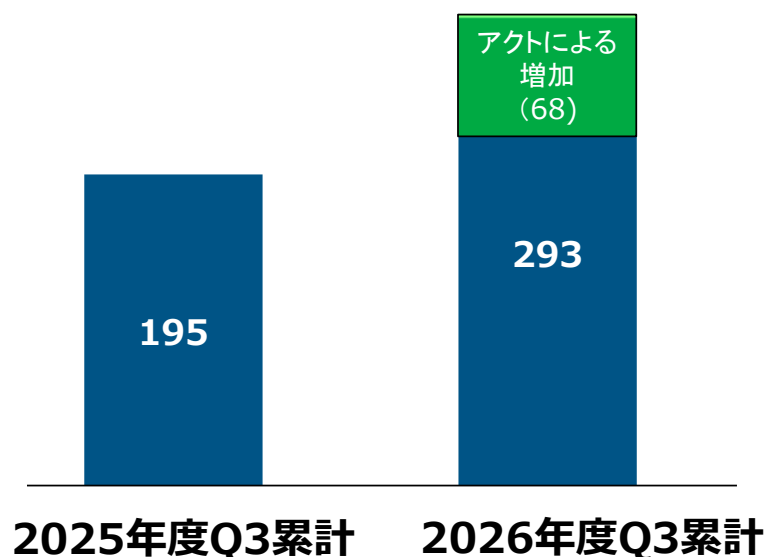
■ 2025年度比 増減額・増減率

売上高	+98億円 (+50.2%)
営業利益	+5億円 (+487.5%)

■ 営業利益

(億円)

売上高（外部顧客） (億円)



関税、中東情勢における影響

関税及び中東情勢の影響について

米州事業における関税影響について（日本/中国/韓国/アジアから輸入部品有）

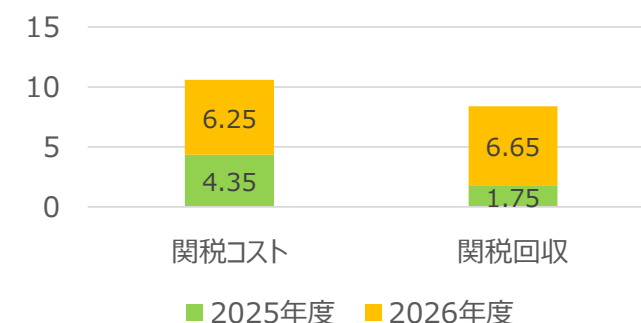
- 2025年度の関税影響発生から現在まで、

米州事業に 約**10.6百万ドル**の影響。

→ 現時点で約**8.4百万ドル（約79%）**は回収済み。

- ➡ 関税措置の見直しに伴い顧客との協議に時間を要しているものの、引き続き交渉を進め、関税影響の最小化に努める。

関税回収状況（百万ドル）



中東情勢の影響について

- 原材料価格上昇の影響額は7月累計で約60百万円となっており、約10百万円を回収済。

なお、サプライヤーからの値上げ申請については引き続き精査を進めており、顧客との回収交渉を継続して実施。

- ➡ 今後も影響の最小化に向け、価格転嫁を含めた対応を進める。

【政策保有株式売却・株主還元方針】

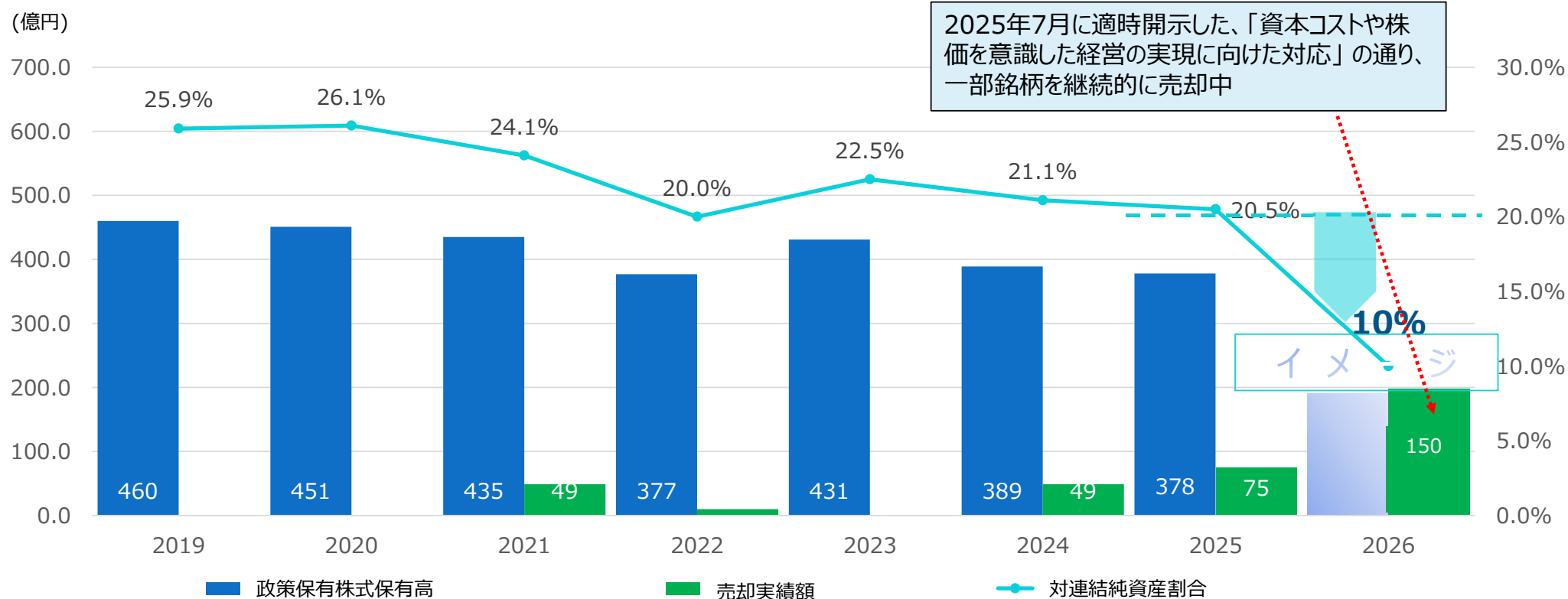
政策保有株式に関する取り組みについて

株価の変動も考慮し、2026年10月期中に下記条件のどちらかを達成するまで売却を継続

①対連結純資産比10%以下

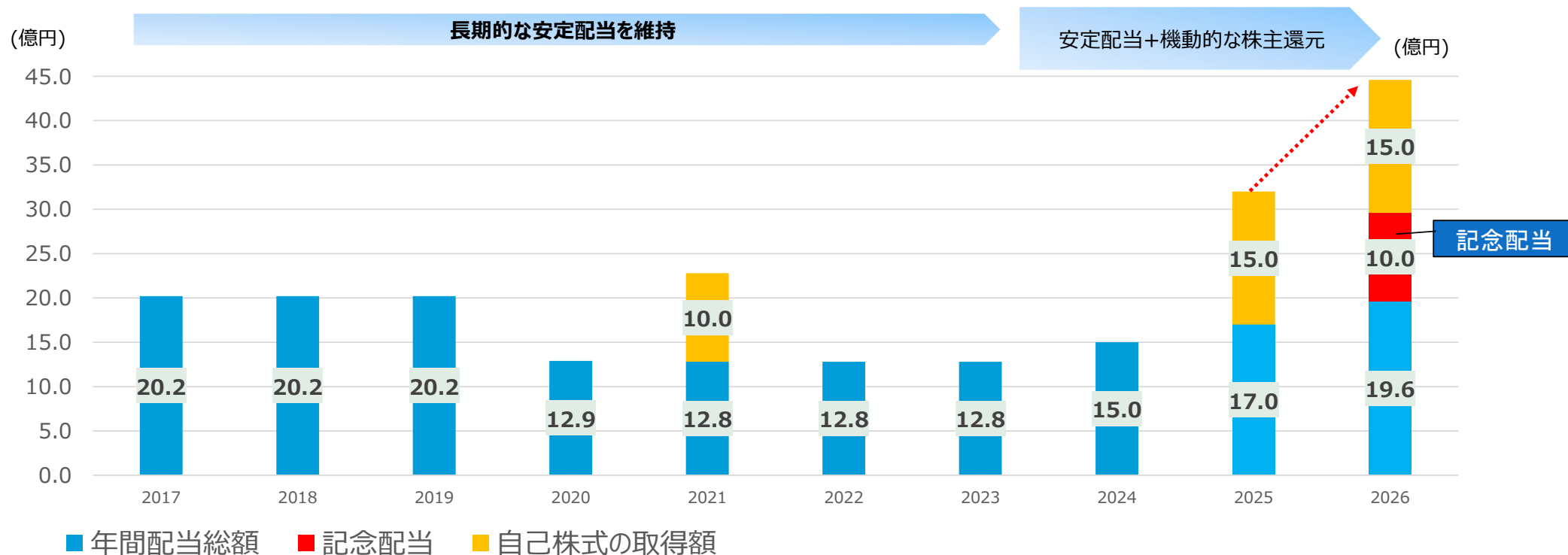
②2025年7月末時点で①を満たすように算定した売却目標額

→今年度は150億円の売却となる見込みであり、今期中の縮減目標の達成にむけて着実に進捗



株主還元について

- 長期安定的な配当を継続する
- 自社株取得を機動的に実施する
- 26年度は創業80周年を迎え、記念配当も行う



基本方針：長期的な安定配当を維持

成長
投資

人財投資
新製品開発
M&A

株主
還元

安定配当
自己株式取得

構造
改革

生産キャパシティ最適化
物流ルート最適化



バランスを取りながら総合的に判断

HI-LEX CORPORATION

これからも魅力ある技術と人財に磨きをかけ、
お客様に困り事があればまず最初に声をかけていただける会社、

『 To be the First-Call Company 』
for Customer's better choice !!

を当社のミッションステートメントとして掲げ、
その一つ一つのご縁を大切にHI-LEXコーポレーションは発展し続けます。

注意事項・免責事項

本資料は情報提供を目的として作成されており、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社により作成されております。これら記述は将来における業績達成を保証するものではなく、国内外の予測困難なリスクや不確実性による影響を受けた結果、実際の業績等は見通しと異なる結果となる可能性があります。

当社は本資料の情報を利用した結果生じたいかなる損害に関して、一切責任を負うものではありません。

本資料に記載されている情報について、資料作成後の新たな情報の発生に伴い将来の見通しに関する記述を更新もしくは改訂することを当社は約束するものではありません。

本資料に記載されている情報の内容については、予告なしに変更される可能性があります。